

## 第2章 「要素の取得」の記述

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御1

## 第2章

### 「要素の取得」の記述

## 第2章 学習目標

Webページへの出力の方法を学びましょう。

## 出力先の設定

ページ上のコンテンツをコントロールするために、出力先を設定しましょう。

### 1. htmlファイルを用意

ファイル名は「sample3-2.html」として、ソースコードは次のとおりです。

#### ■ ソースコード

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル3-2</title>
6     <style>
7       /*CSSのエリア*/
8     </style>
9   </head>
10  <body>
11    <!-- コンテンツのエリア -->
12    <script>
13      //JavaScriptのエリア
14    </script>
15  </body>
16 </html>
```

## 2. 出力先の設定

body要素内にある「指定した要素」に出力します。その要素を追加するため次のソースコードを追加しましょう。

### ■ ソースコード

```
10 <body>
11 <!-- コンテンツのエリア -->
12 <p id="box1">こんにちは</p>
```

解説：

- p要素に出力します。JavaScriptでコントロールできるようにid「box1」を指定します。

## 要素の取得

出力先の要素をJavaScriptでコントロールするために、「要素の取得」を行います。

### 1. script部分への要素の取得の追加

### ■ ソースコード

```
10 <body>
11 <!-- コンテンツのエリア -->
12 <p id="box1">こんにちは</p>
13 <script>
14 //JavaScriptのエリア
15 var box1 = document.getElementById("box1");
16 </script>
```

解説：

- documentオブジェクト(HTMLソースを解釈して、ページに要素を表示する役目)を使い、box1の要素を取得して、変数「box1」代入しています。

### 2. そのほかの要素の取得方法

JavaScriptで要素をコントロールするために、本講義では「document.getElementById()」を主に用いて講義しますが、その他の取得の方法についても触れておきますので各自で演習してみてください。

#### 1. タグで要素を取得

sample2-2.htmlを複製してsample2-2-2.htmlとし、以下の部分を変更してみましょう。

### ■ ソースコード

```

11      <!-- コンテンツのエリア -->
12      <h1>あいさつのことば</h1>
13      <p>おはよう。</p>
14      <p>こんにちは。</p>
15      <p>こんばんは。</p>
16
17      <script>
18          //JavaScriptのエリア
19      var tags = document.getElementsByTagName("p");
20      </script>

```

## 2. classで要素を取得

sample2-2.htmlを複製してsample2-2-3.htmlとし、以下の部分を変更してみましょう。

### ■ ソースコード

```

11      <!-- コンテンツのエリア -->
12      <h1>あいさつのことば</h1>
13      <p class="css1">おはよう。</p>
14      <p>こんにちは。</p>
15      <p class="css1">こんばんは。</p>
16
17      <script>
18          //JavaScriptのエリア
19      var classes = document.getElementsByClassName("css1");
20      </script>

```

解説：

- これらは配列として変数「tags」「classes」の中に格納されます。

この章では、要素の取得までです。

次の章で出力の方法を学ぶので、そこでページの表示の状態を確認しましょう。

## 練習問題1

### 問題 要素の取得

講義で解説した「要素の取得」で正しいものを選びましょう。

- ☐ document.getElementById("id名")
- ☐ document.getElementById("id名")
- ☐ document.write("要素の取得")

## 練習問題1の解説

正解は、`document.getElementById("id名")` です。

- JavaScriptでは大文字小文字を区別します。
- よく間違えやすいのは、「～Id」を「～ID」と大文字で記述してしまったり、「Element」を「element」と小文字で記述するなどです。
- `document.write()`は文字を表示するために使用します。

JavaScriptでは、大文字小文字の違いも含めて理解するようにしましょう。

## 第2章 まとめ

出力先の設定や、要素の取得など、Webページへの出力の方法を学びました。

## 第2章 終わり

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御1

## 第2章

## 「要素の取得」の記述

おわり